

COMMUNITY NEWS

こんかいのゾーン

# 謹賀新年



## 年始の挨拶

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

2017年4月14日、演習の現地見学が終了したあと横須賀市の居酒屋「中央酒場」に集まった5人のメンバーによって、新団体プロジェクトが始動してからまもなく9か月が経とうとしています。思い返せば、何をやる団体なのかすら見通せないまま声を掛けた3人が快く参加してくださり8人体制でスタートを切れたこと、団体名の決定に至る「もりばあのかい」での侃々諤々の議論、理念が決まらないまま時間だけが過ぎ去った深夜の渋谷でのミーティング、毎回30字にこだわった「こんかいのゾーン」の一言など、1年目は印象深い出来事がたくさんありました。中でも、ファーストプロジェクトとして神田警察通り賑わい社会実験で実施した「神田寄り道農園ベジタ」が多くの方のご参加をいただき、一定の反響を得たことは私たちにとって大きな意味があったと考えています。

本年は、昨年の活動を通して感じたことや得た人脈を最大限活用し、飛躍を遂げなければなりません。しかしながら、現在までに話が出ているプロジェクトはいずれも不確定要素が大きく、団体としての安定した基盤を構築するまでには多くの困難に直面することになるでしょう。団体としても個人としても大きな転換期を迎える本年に向けて、課題が主に3つあると考えておりますので、ここで改めて整理しておきます。第一に、実績と信頼の問題。新しい団体なので実績を作る必要があるものの、仕事を請け負うだけの信頼がない。よく言われる「鶏と卵」の問題ではありますが、私たちがこれまでに個人的に構築してきた人脈を頼って仕事を流してもらおう、という考え方は早晚限界を迎える、あるいは既に迎えているのではないかとことを実感してきました。年末に、神田の「寄せにわ」モデルに関してこちらからプレゼンを行ったような関係性において仕事を創り出していく必要があります。私たちはそうした取り組み方にうまく適応していくことができるでしょうか。

第二に、資金の問題があります。昨月の外部団体との打ち合わせでも資金調達などを行うつもりがあるのかと問われましたが、現段階では調達方法のビジョンが見えていません。神田社会実験のようにプロジェクトごとの予算枠の中で活動するのであれば生じない問題かもしれませんが、法人化を本格的に見据えるためには、しかるべきタイミングで団体としての意思決定を行いましょ。

最後に、メンバー構成の問題。活動を重ねれば重ねるほどチームとしての一体感は増していくことでしょ。一方で、度々言及してきたように、親密な関係性が緊張感を喪失させ、意見の多様性が失われることを懸念しています。また、学部卒業時、修士卒業時とメンバーが減っていくことが予想される中で、活動を維持するために新たなメンバーの加入を求めるのかどうか。これも重要な検討事項としなければなりません。

小布施では地元の方に「君たち仲悪いの？」と聞かれ、代表を務めさせていただいているところの私が今年年賀状を送ったメンバーが7人中3人だけと、仲が良いのか悪いのか判然としない私たちですが、多種多様な選択肢から都市という壮大なテーマを選び、若い時間を都市に向き合うことに捧げるのを厭わない、重要な仲間です。そして、自分にはない能力を一人ひとりが持っているコミュニティで活動ができるというのは私にとってのも得難い経験です。先日、私が団体を立ち上げ代表の座に就いたことを聞きつけたサークルの同期が「代表をやるなんて意外」と伝えてきました。悲しいかな、他人と同じように行動してうまくいったことがあまりないので、代表らしからぬ代表、スタートアップらしからぬスタートアップ、都市計画らしからぬ都市計画、などなど、既存の枠組みや考え方に囚われることなく、楽しみながら活動していきたいものです。

さあ、未来は私たちのためにあります。誰もいない道を進みましょう。

こちらのゾーン 井上拓央

# こしら の 抱負

誰の抱負かあててみよう

仕事し  
ない

の  
改善  
の  
適当せ

忘れ物  
し  
ない

自覚を  
持  
つ

週三  
自炊

せ  
言  
動  
な

行動で  
示  
す

勤  
勉  
せ